

2014年12月期 第3四半期決算説明資料を訂正しました。  
<訂正箇所>  
■P20「不動産ビジネス」活動状況の土地件数

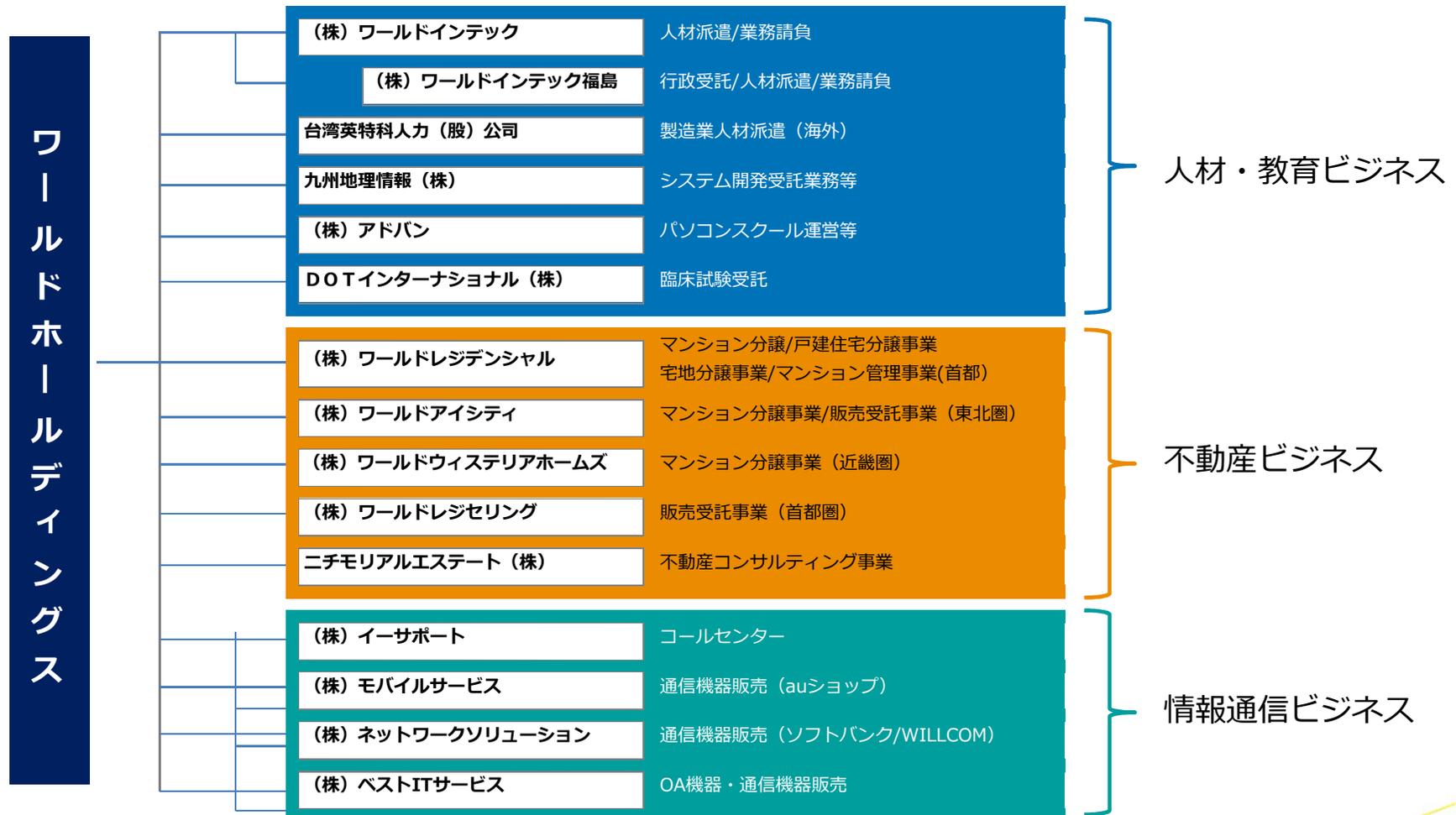
## 2014年12月期 第3四半期決算説明資料

2014年11月10日  
株式会社ワールドホールディングス  
東証JASDAQ (2429)

- 
- I .2014年12月期 第3四半期決算概要
  - II .セグメント別動向
  - III .2014年12月期 業績予想

# ワールドホールディングスグループ

“人材・教育ビジネス”“不動産ビジネス”“情報通信ビジネス”の3つの事業を柱として「人が生きるカタチ」を追求します。



# I . 2014年12月期 第3四半期決算概要



## 2014年12月期 第3四半期サマリー

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益全て、過去最高を更新  
 経常利益、当期純利益は3Q時点で通期予想を達成

単位:百万円、%

	2013/1Q~3Q 累計実績	2014/1Q~3Q 累計実績	前年同期比		2014年12月期 通期予想※	通期予想に 対する進捗率%
			増減額	増減率		
売上高	41,551	<b>49,815</b>	8,264	19.9	70,620	<b>70.5</b>
営業利益	1,502	<b>2,627</b>	1,124	<b>74.8</b>	3,560 (+ 879)	<b>73.8</b>
経常利益	1,538	<b>2,595</b>	1,057	68.7	3,600 (+1,028)	<b>72.1</b>
当期純利益	670	<b>1,202</b>	532	<b>79.5</b>	1,900 (+ 698)	<b>63.3</b>

期初予想を上回る増益(11/10業績予想の修正発表)

→ファクトリー事業及び不動産事業が大きく寄与し通期予想を大幅に上回る

※2014年11月10日業績予想の修正発表

# セグメント別業績概況

セグメント利益は、ファクトリー事業・不動産事業で対前年同期比で大幅増収

単位:百万円、%

			2013/12期 1Q~3Q累計※	2014/12期 1Q~3Q累計	前年同期比		2014/12 通期予想 ※※
					増減額	増減率	
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	15,186	18,217	3,030	20.0	25,620
		セグメント利益	758	1,432	674	88.9	1,800
		利益率	5.0%	7.9%	—	—	7.0%
	テクノ事業	売上高	5,332	6,282	949	17.8	8,500
		セグメント利益	421	494	73	17.3	650
		利益率	7.9%	7.9%	—	—	7.6%
	R & D 事業	売上高	2,726	2,945	218	8.0	4,200
		セグメント利益	149	52	△96	△64.9	170
		利益率	5.5%	1.8%	—	—	4.0%
	セールス&マーケティング事業	売上高	1,437	1,898	461	32.1	2,700
セグメント利益		41	38	△3	△7.7	60	
利益率		2.9%	2.0%	—	—	2.2%	
その他	売上高	516	444	△72	△14.1	600	
	セグメント利益	46	21	△25	△54.8	20	
	利益率	8.9%	4.7%	—	—	3.3%	
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	6,431	10,291	3,859	60.0	15,500
		セグメント利益	433	1,146	713	164.7	1,800
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	9,918	9,736	△182	△1.8	13,500
		セグメント利益	344	247	△97	△28.3	230
合 計	売上高	41,551	49,815	8,264	19.9	70,620	
	消去又は全社	△692	△805	△113	—	△1,170	
	営業利益	1,502	2,627	1,124	74.8	3,560	
	営業利益率	3.6%	5.3%	—	—	5.0%	

百万円未満切り捨て  
 ※セグメント変更に伴い新基準にて2013/12実績を組替え  
 ※※2014年11月10日業績予想の修正発表

## 業績予想の修正について

各利益は前回発表予想を大幅に上回り、売上高・各利益ともに過去最高となる見込み

- ・ファクトリー大口顧客の受注獲得や原価改善の推進効果
- ・不動産ビジネスは、戦略的な売却及び、販売諸経費の減少
- ・DOTインターナショナル分のれんの減損損失として308百万円を特別損失で計上
- ・消費税の簡易課税差額収入等により**当期純利益は増加する見込み**

単位:百万円、%

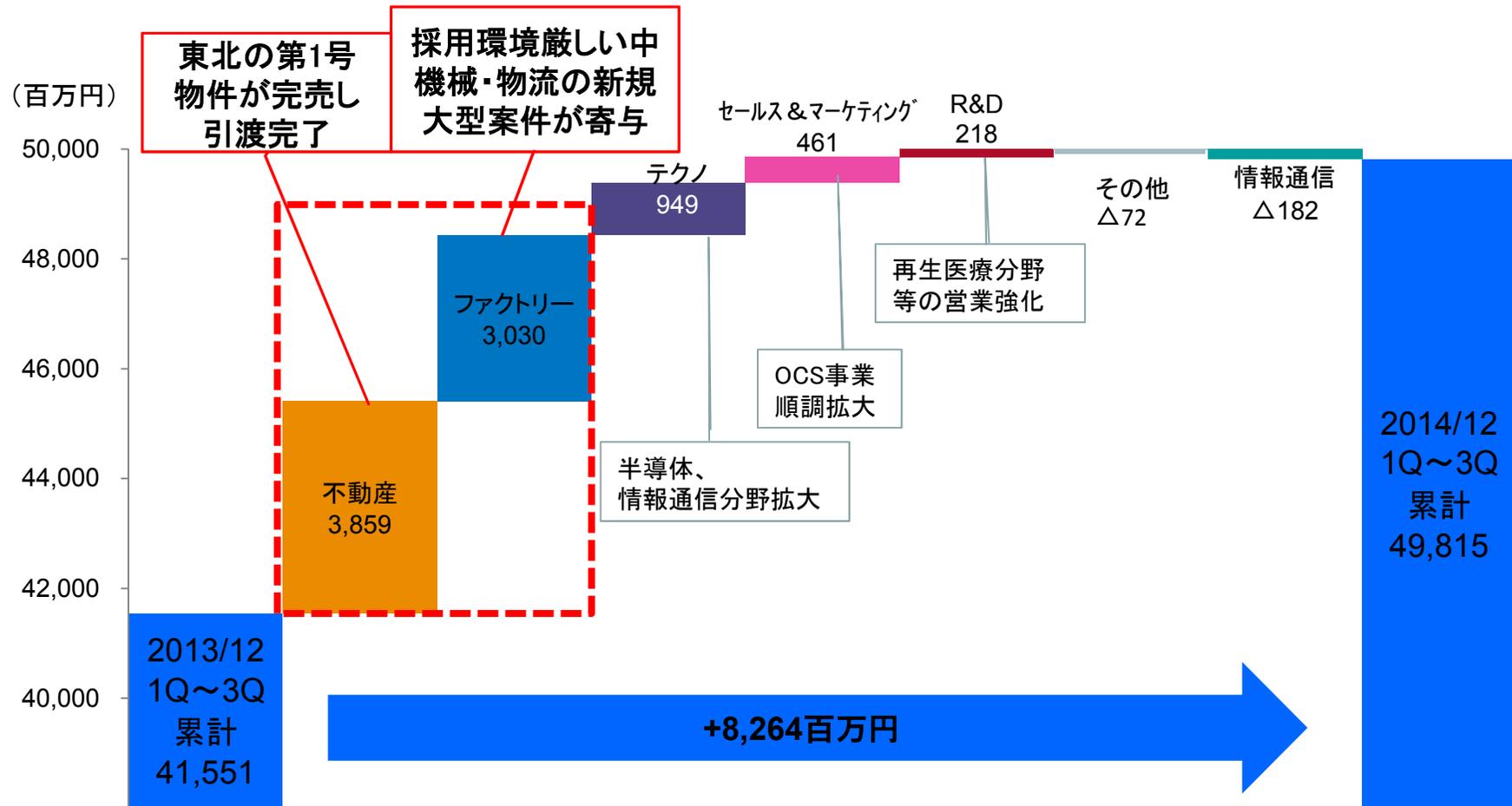
	前期 発表予想※	今回 修正予想 ※※	対前期発表予想		(ご参考) 前期実績 (平成25年12月期)	対前年実績	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	70,620	<b>70,620</b>	-	-	56,450	14,169	25.1%
営業利益	2,680	<b>3,560</b>	879	32.8	2,120	1,439	67.9%
経常利益	2,571	<b>3,600</b>	1,028	40.0	2,164	1,435	66.3%
当期純利益	1,201	<b>1,900</b>	698	58.1	834	1,065	127.6%
一株当たり利益(円)	71.41	112.90			49.63	63.27	127.5%

※2014年2月12日発表時点

※※2014年11月10日業績予想の修正発表

# セグメント別売上高増減

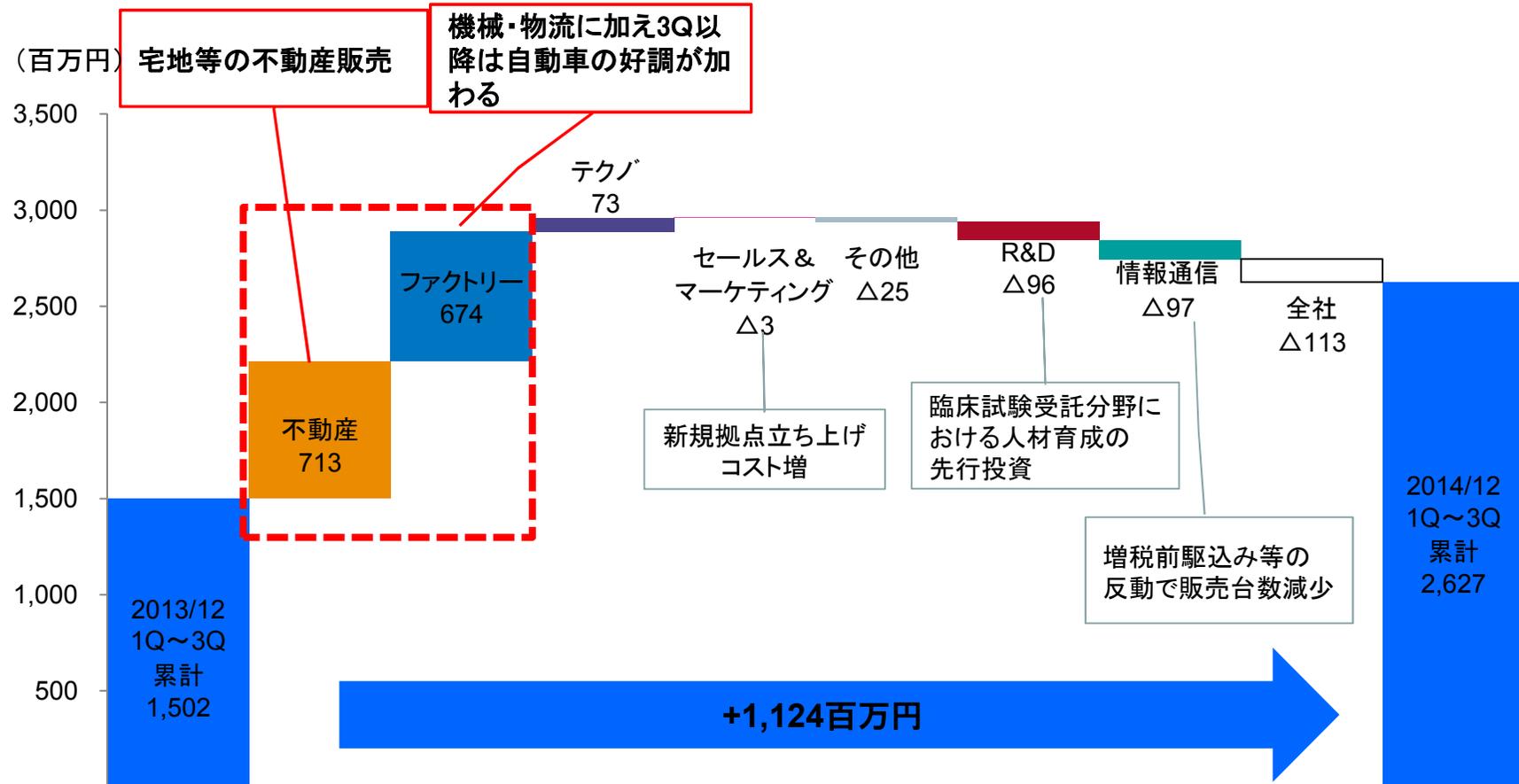
前年同期比で、ファクトリー30億3,000万円、不動産38億5,900万円増加



# セグメント別営業利益増減

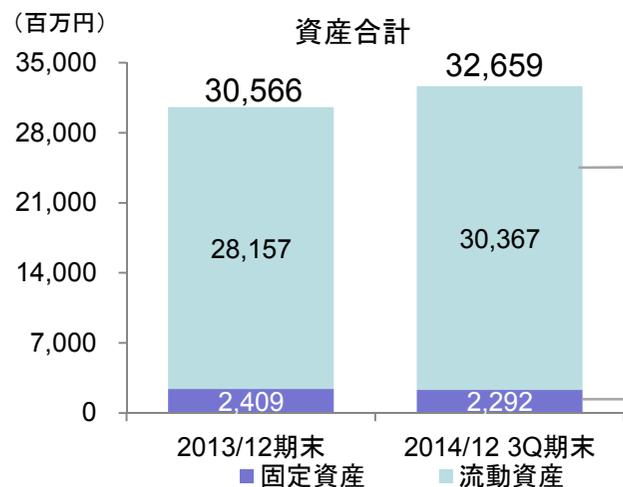
営業利益は前回発表予想を大幅に上回る

主要因は、ファクトリー大口受注獲得・原価改善、不動産の戦略的売却



# 財政状態 B/S

総資産は32,659百万円となり、対前期末比で2,093百万円の増加

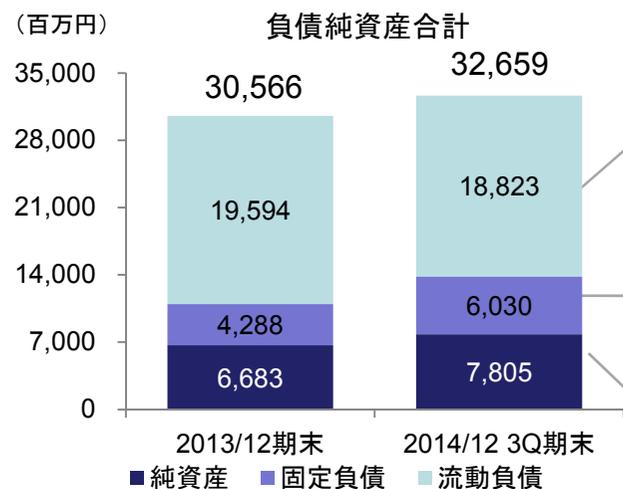


**流動資産** 30,367(+2,210)

- 現金及び預金 7,381 (+1,410) 不動産販売による入金
- 販売用不動産 728 (+ 214)
- 仕掛販売用不動産 15,138 (+ 943) 事業用地取得

**固定資産** 2,292(△117)

- 有形固定資産 705 (+68)
- 無形固定資産 274 (△380) 敷金・補償金の減少
- 投資その他の資産 1,311 (+195)



**流動負債** 18,823(△770)

- 不動産事業用未払金 1,567 (+487)
- 短期借入金 9,746 (△1,184) 長期借入金にシフト

**固定負債** 6,030(+1,742)

- 長期借入金 5,247 (+1,630) 販売用不動産購入資金

**純資産** 7,805(+1,121)

- 利益剰余金 5,159 (+1,034)

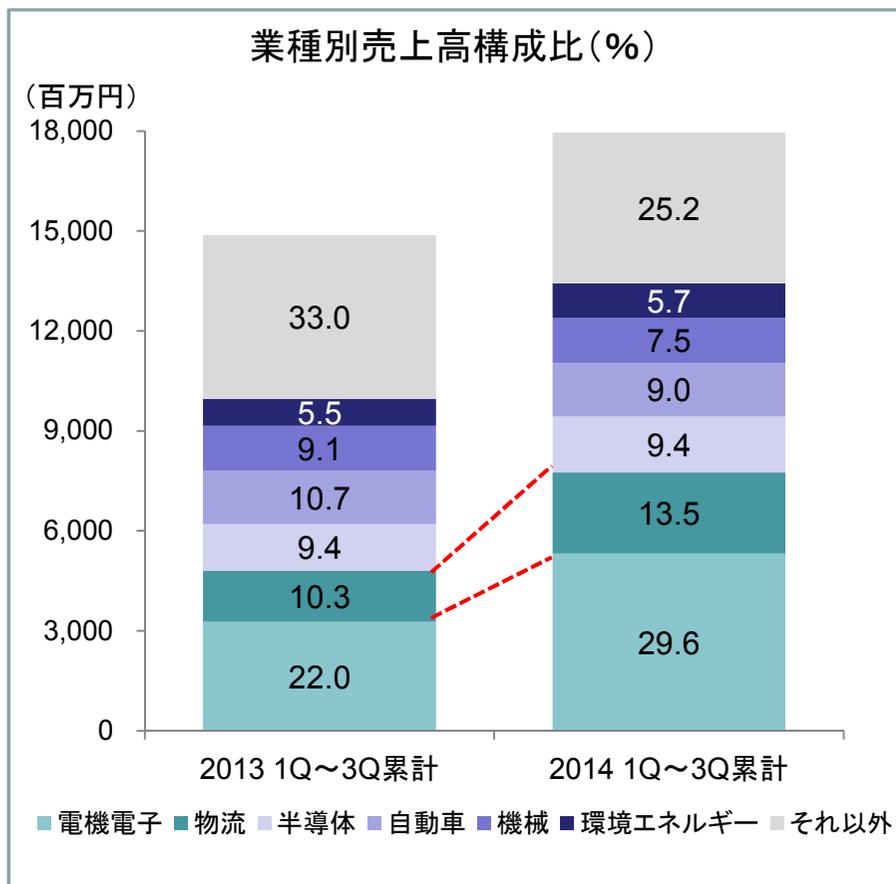
## Ⅱ. セグメント別動向



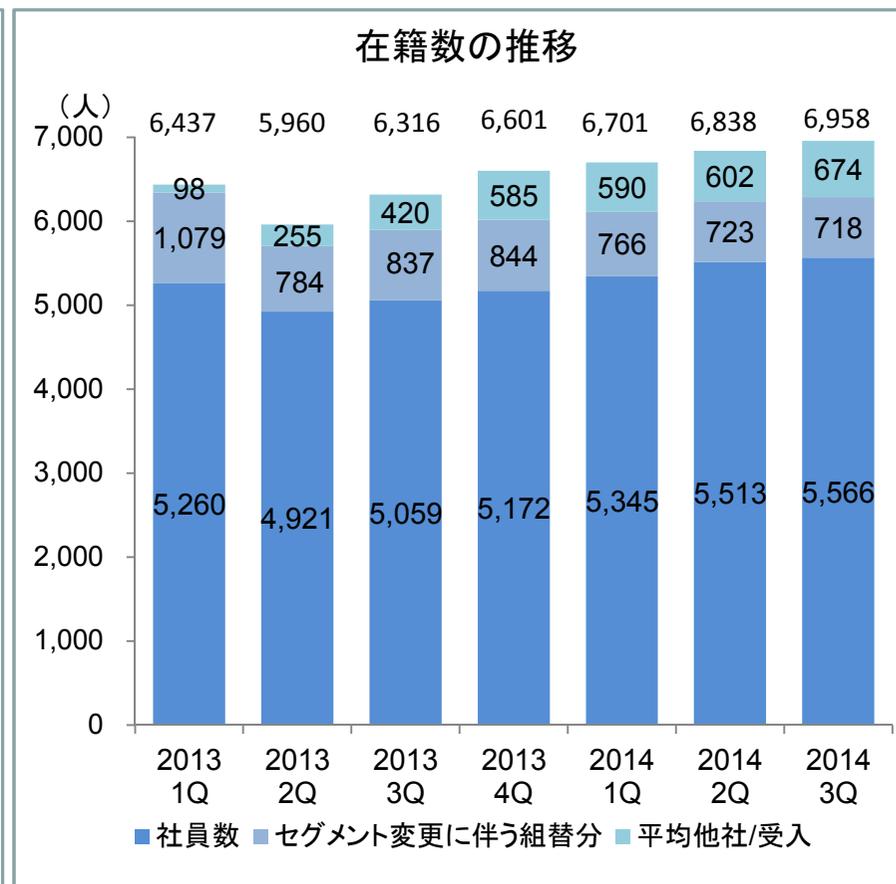
## 《分野別売上構成比と在籍数》

電気・電子分野、物流分野が**大幅拡大**

期初に開始した機械分野及び物流分野の**新規大型案件が大きく寄与**



※グラフは台湾を除く国内売上高、セグメント変更を過去に遡り修正  
上記業種以外の詳細はご参考参照

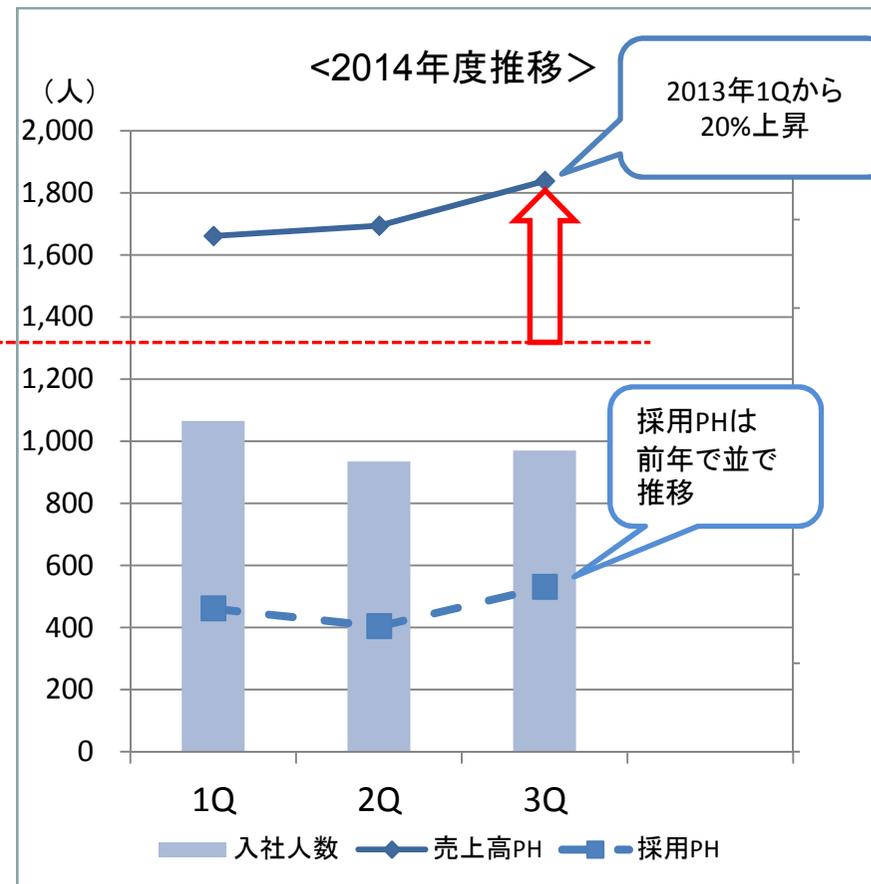
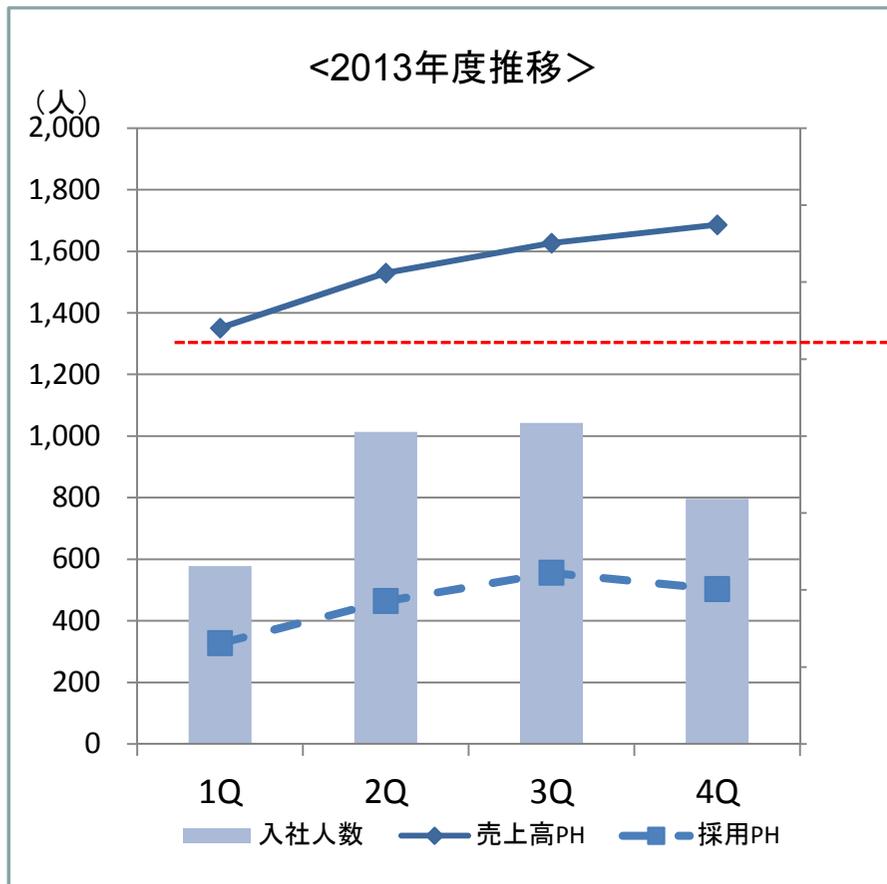


※在籍数は3か月平均、2013年4Qより他社受入の外部人員を含む  
※在籍数は現業社員のみ数字に変更し、過去遡り修正

# ファクトリー売上高PH、採用PHと入社数の推移

売上PHは7四半期連続で上昇基調を継続

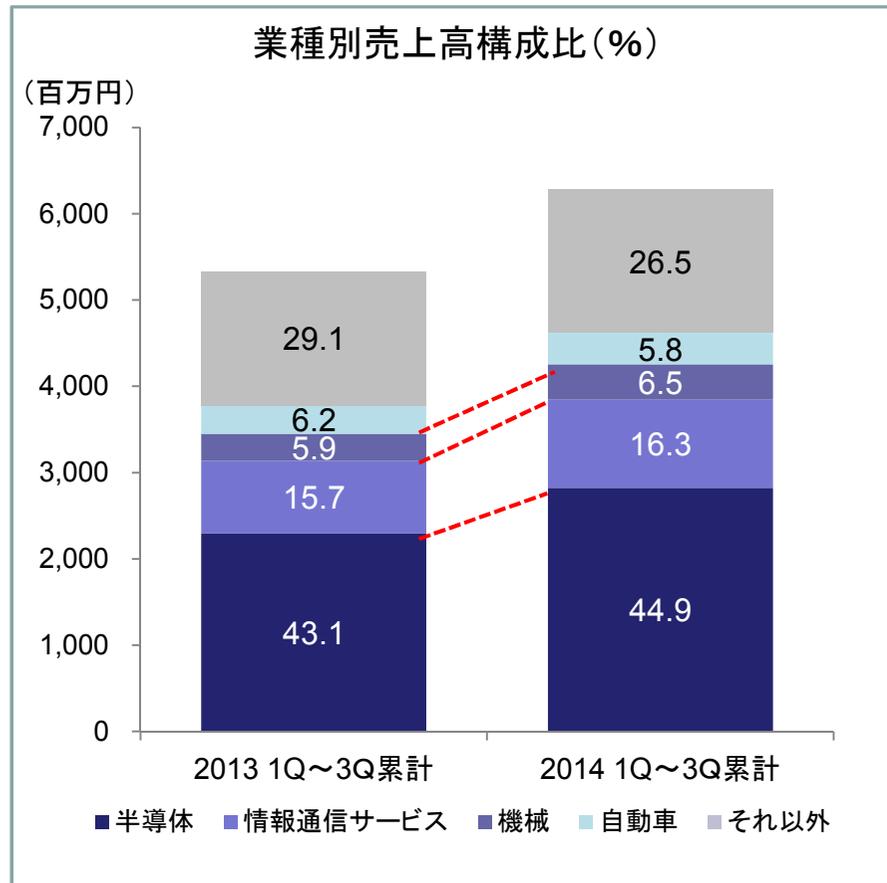
採用環境厳しい中、採用コストの効率化を図りながら必要な人員数を獲得



# テクノ事業

## 《分野別売上構成比と在籍数》

採用と配属先の確保を強化、設計開発については**対前期で在籍大幅増**



※グラフはセグメント変更を過去に遡り修正、上記業種以外の詳細についてはご参考参照

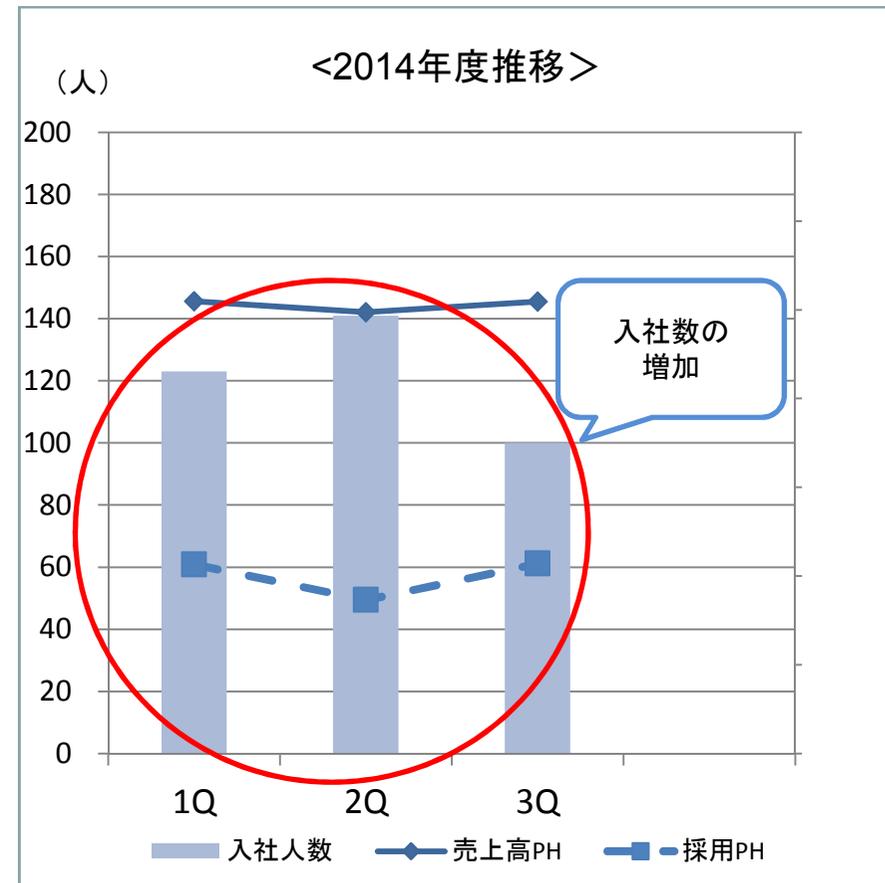
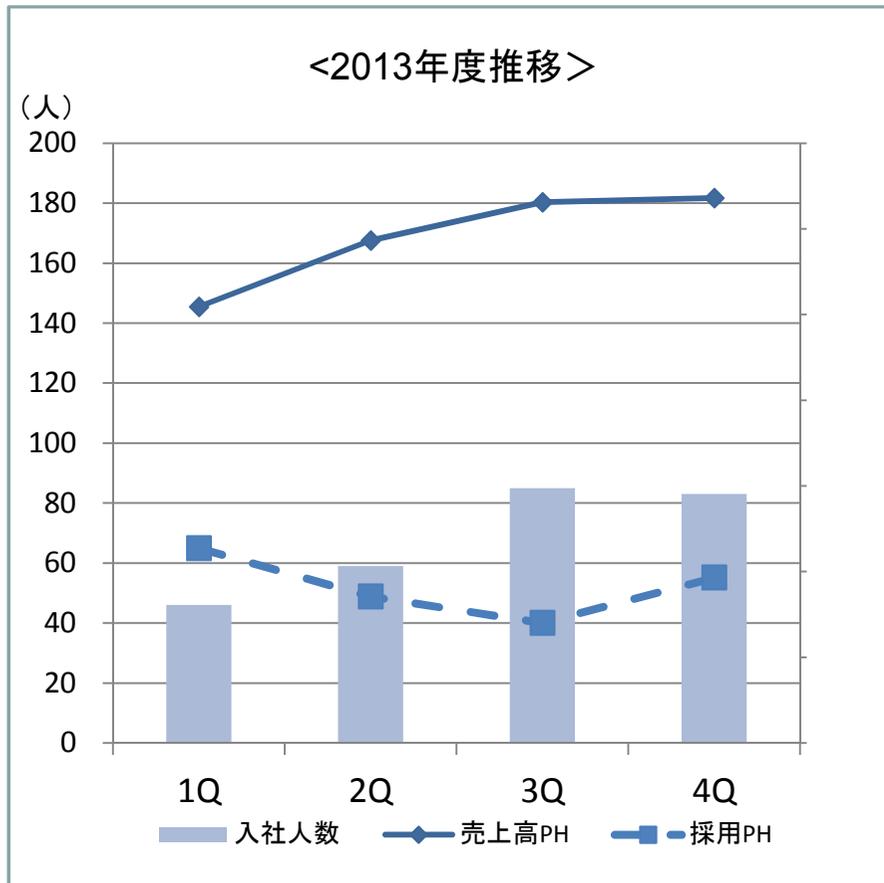


※在籍は3か月平均  
 ※在籍数は現業社員のみの数字に変更し、過去遡り修正

# テクノ事業: 売上高PH、採用PHと入社数の推移



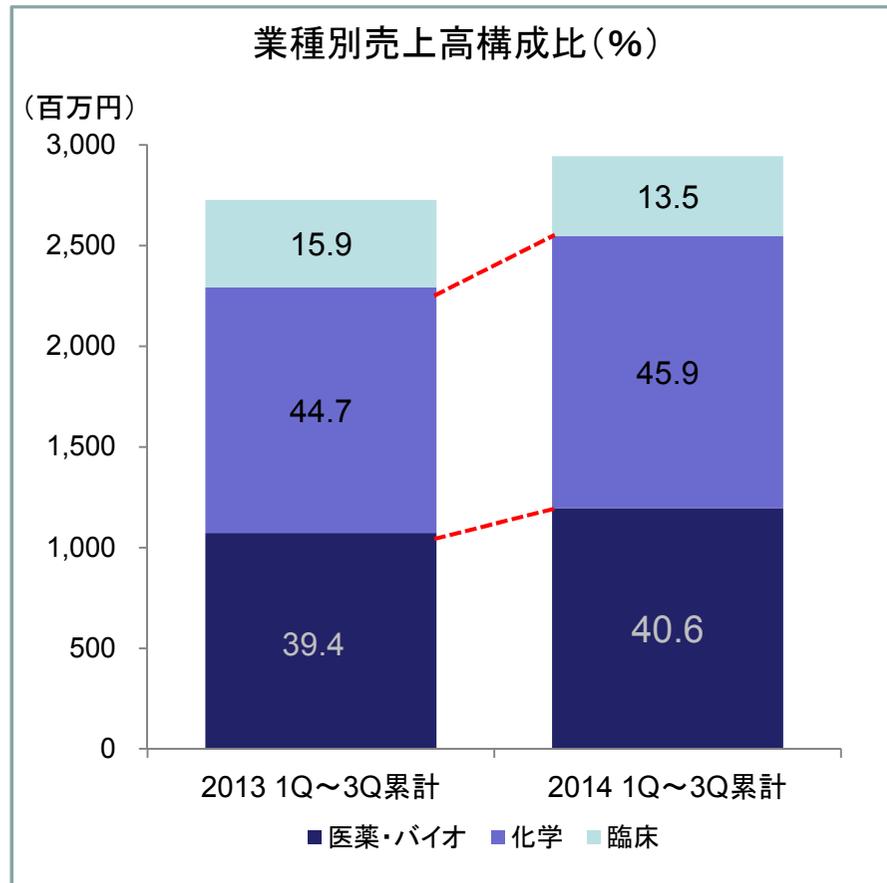
採用状況厳しい中、入社数は2014年3Q時点で、前年累計を20%上回る  
技術者のリテラシーを活用した工場系エンジニア領域の開拓により売上PHは下がる



# R&D事業

## 《分野別売上構成比と在籍数》

医薬・バイオ系需要増を背景に受注、採用ともに拡大、DOTも順調に在籍増

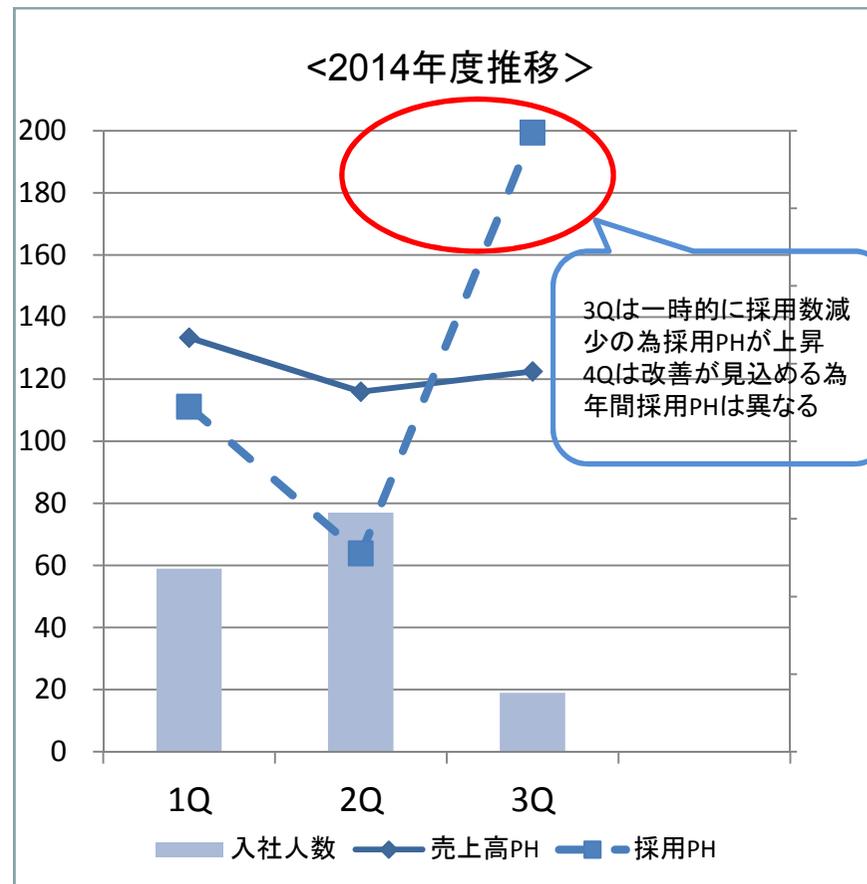
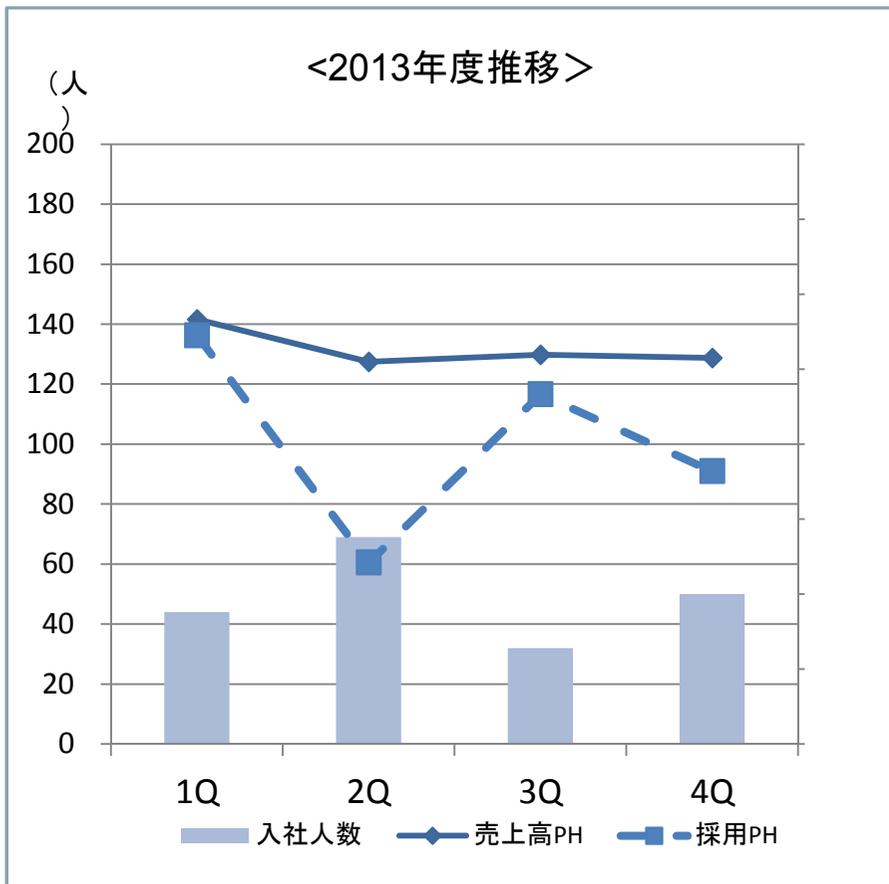


※在籍は3か月平均

※在籍数は現業社員のみ数字に変更し、過去遡り修正

# R&D事業: 売上高PH、採用PHと入社数の推移

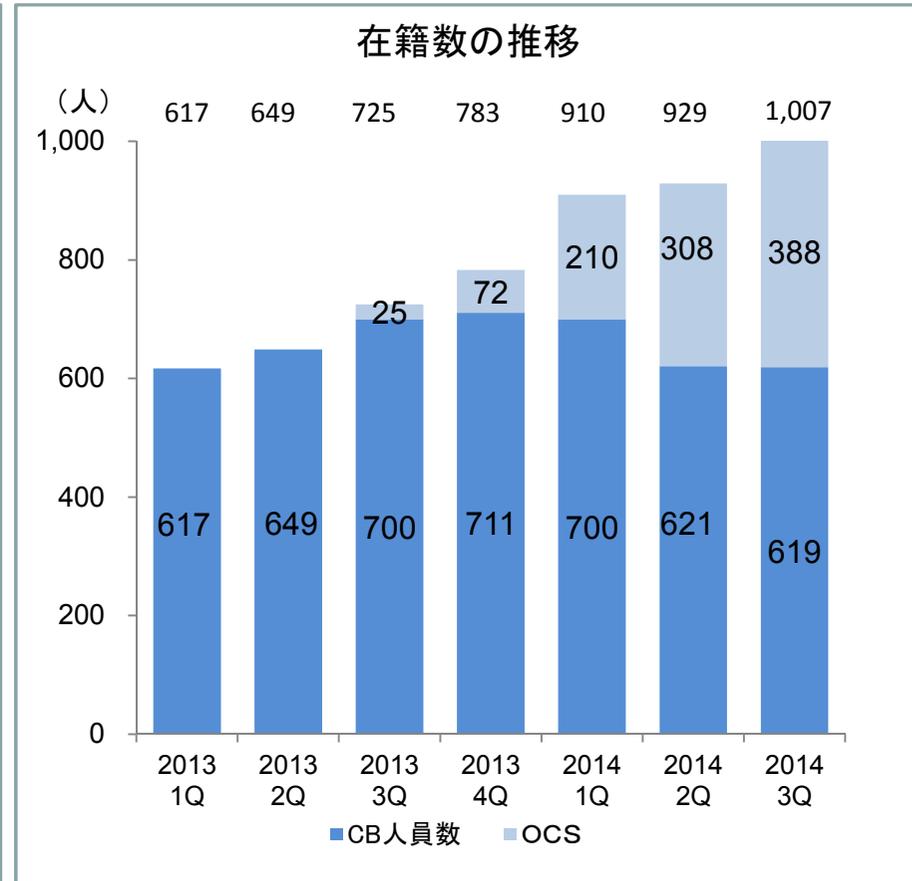
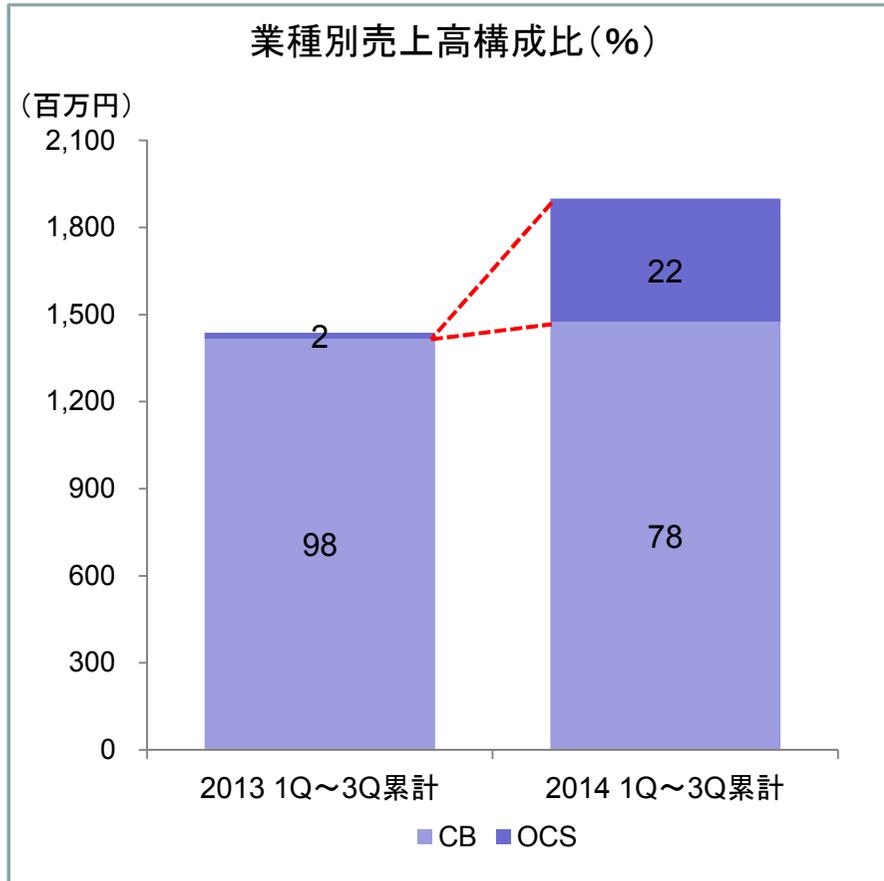
R&D事業については、採用難から個別単価が上昇傾向  
 DOTインターナショナルについては、紹介依存の採用から媒体採用へシフト



# セールス&マーケティング事業

## 《分野別売上構成比と在籍数》

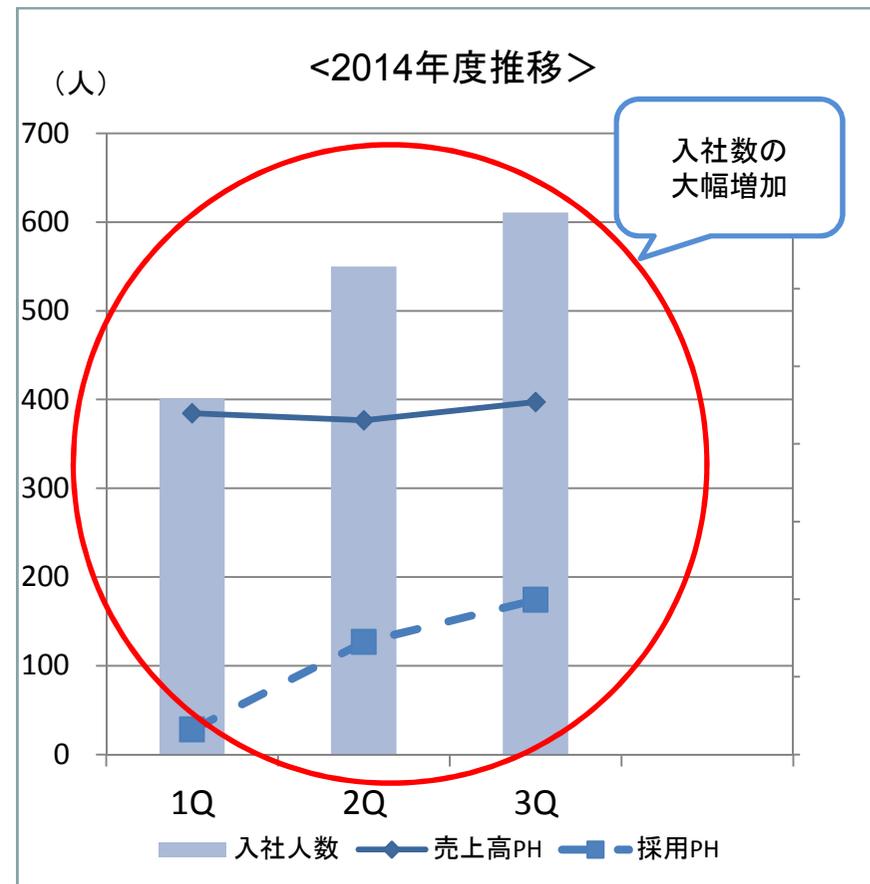
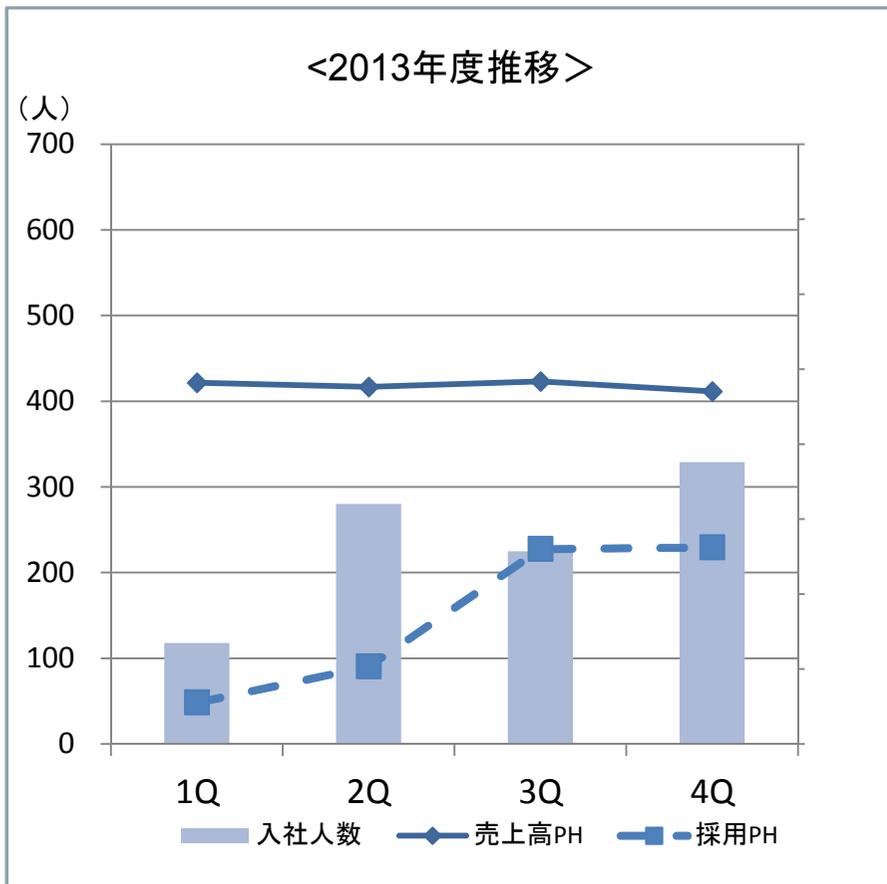
OCS事業での採用順調、拠点も6拠点と**事業基盤拡充が進む**



※在籍は3か月平均  
 ※在籍数は現業社員のみの数字に変更し、過去遡り修正

# S&M事業：売上高PH、採用PHと入社数の推移

OCS事業での採用が順調に進み、在籍増加だが、  
 事業特性上売上PHがCB事業と比較して少ない為平均単価が押し下げられている  
 7月に新宿オフィスをオープンし更なる採用強化を図る



## 《活動状況1月～9月》

事業採算性を考慮した仕入れと市場環境に合わせた柔軟な対応を推進

	自社開発		販売受託	区画分譲	戸建分譲	仲介	土地	
	首都圏	東北圏	合計					
仕入	首都圏	7物件						
	東北圏	1物件						
	合計	8物件						
供給	首都圏	39戸						
	東北圏	38戸						
	合計	77戸						
引渡	首都圏	39.6戸		7区画	11戸		4件	→ <b>254.6戸+土地5件</b> (戸換算) (3Qは2件)
	東北圏	54戸	126戸			17件	1件	
	合計	93.6戸	126戸	7区画	11戸	17件	5件	

中野坂上8戸  
鷺宮2戸  
レジデンシャル門前仲町イースト28戸  
JV三鷹1.6戸  
レジデンシャル南仙台54戸

レジデンシャルノイエ駒澤11戸

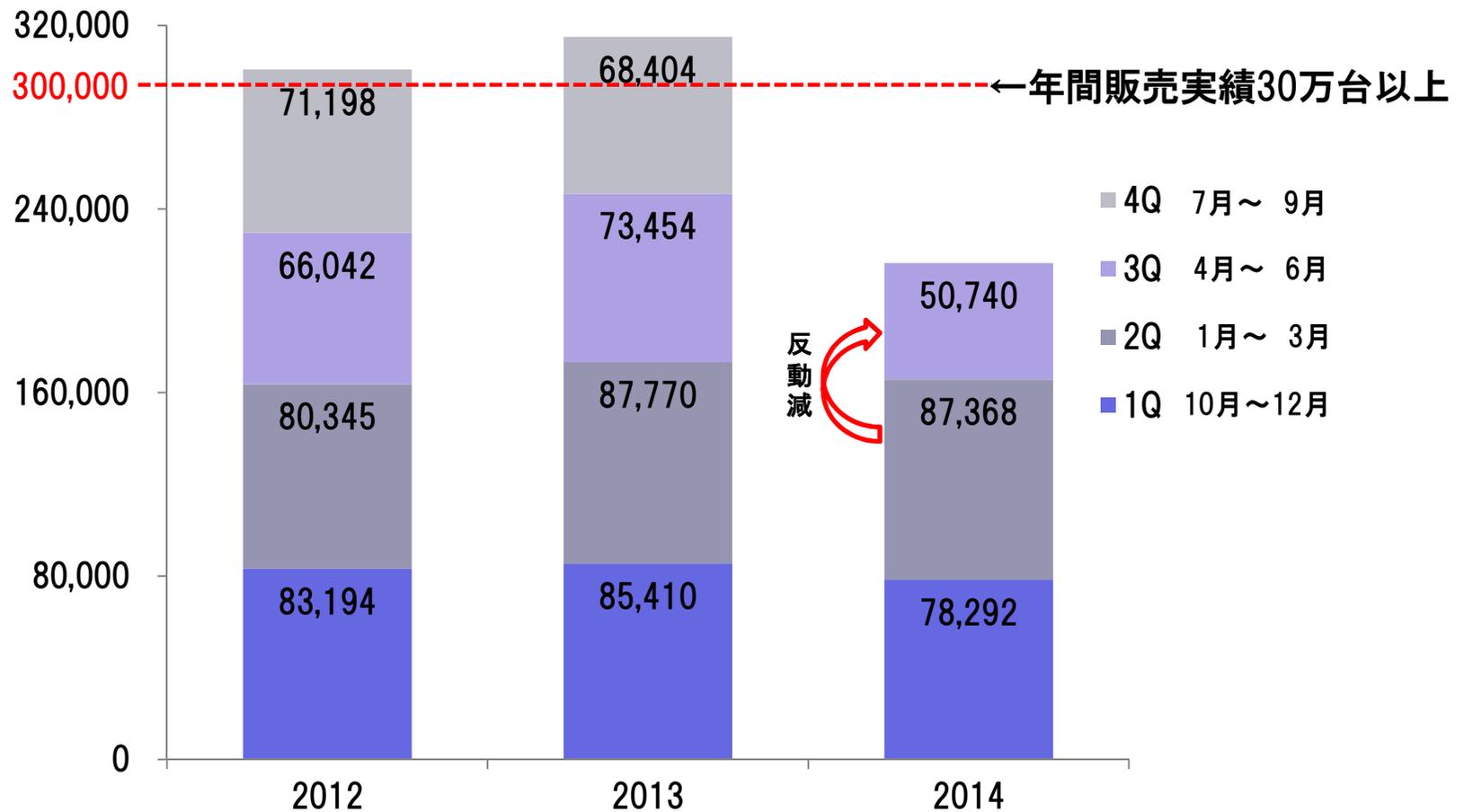
	自社開発		販売受託		仲介		土地		
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	
契約状況 (1-9月)※	首都圏	82戸	85戸	13戸	30戸			4件	→ <b>327戸+土地5件</b> (戸換算) (3Qは2件)
	東北圏	12戸	10戸	76戸	0	19件	0	1件	
	合計	94戸	95戸	89戸	30戸	19件	0	5件	

※来期以降完成物件及び共同事業を含む

# 情報通信ビジネス：携帯端末総販売台数の推移

## <3Q減少要因>

増税・キャッシュバック廃止に伴う3月までの駆け込みの反動で、3Q(4月～6月)販売台数減少



注)連結会計年度であり、カレンダーとは3ヵ月の期ずれがあります。

### Ⅲ. 2014年12月期 業績予想



## 2014年12月期 通期業績予想サマリー

営業利益・経常利益・当期純利益ともに当初予想を大幅に上回る  
売上高、各利益とも過去最高になる見込み

対前期比で営業利益67.9%増、経常利益66.4%、当期純利益127.8%増となる。

単位:百万円、%

	2013/12 実績	2014/12 前回予想 ※	2014/12 今回予想 ※※	対前回予想		対前期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	56,450	<b>70,620</b>	<b>70,620</b>	0	0.0%	14,169	25.1%
営業利益	2,120	<b>2,680</b>	<b>3,560</b>	879	32.8%	1,439	67.9%
経常利益	2,164	<b>2,571</b>	<b>3,600</b>	1,028	40.0%	1,435	66.3%
当期純利益	834	<b>1,201</b>	<b>1,900</b>	698	58.1%	1,065	127.6%
一株当たり利益(円)	49.6	71.4	112.9				
一株当たり配当金(円)	10.0	14.3	14.3				

百万円未満切り捨て

※セグメント変更に伴い、新基準にて2013/12期実績及び2月18日付公表予想を組替

※※2014年11月10日業績予想の修正発表

# セグメント別業績予想

		単位: 百万円、%	2013/12期	2014/12期 前回予想※	2014/12期 今回修正予想 ※※	増減額
人材・教育ビジネス	ファクトリー事業	売上高	21,015	24,163	25,620	1,457
		セグメント利益	1,204	1,355	1,800	445
		利益率	5.7%	5.6%	7.0%	
	テクノ事業	売上高	7,335	8,781	8,500	△ 281
		セグメント利益	638	781	650	△ 131
		利益率	8.7%	8.9%	7.6%	
	R & D 事業	売上高	3,693	4,447	4,200	△ 247
		セグメント利益	195	289	170	△ 119
		利益率	5.3%	6.5%	4.0%	
	セールス&マーケティング事業	売上高	1,989	3,200	2,700	△ 500
セグメント利益		50	49	60	10	
利益率		2.5%	1.6%	2.2%		
その他	売上高	640	521	600	79	
	セグメント利益	52	26	20	△ 6	
	利益率	8.2%	5.0%	3.3%		
不動産ビジネス	不動産事業	売上高	8,683	15,018	15,500	482
		セグメント利益	511	889	1,800	911
		利益率	5.9%	5.9%	11.6%	
情報通信ビジネス	情報通信事業	売上高	13,092	14,490	13,500	△ 990
		セグメント利益	441	489	230	△ 259
		利益率	3.4%	3.4%	1.7%	
合 計	売上高	56,450	70,620	70,620	0	
	消去又は全社	△ 973	△ 1,200	△ 1,170	30	
	営業利益	2,120	2,680	3,560	880	
	営業利益率	3.8%	3.8%	5.0%		

百万円未満切り捨て

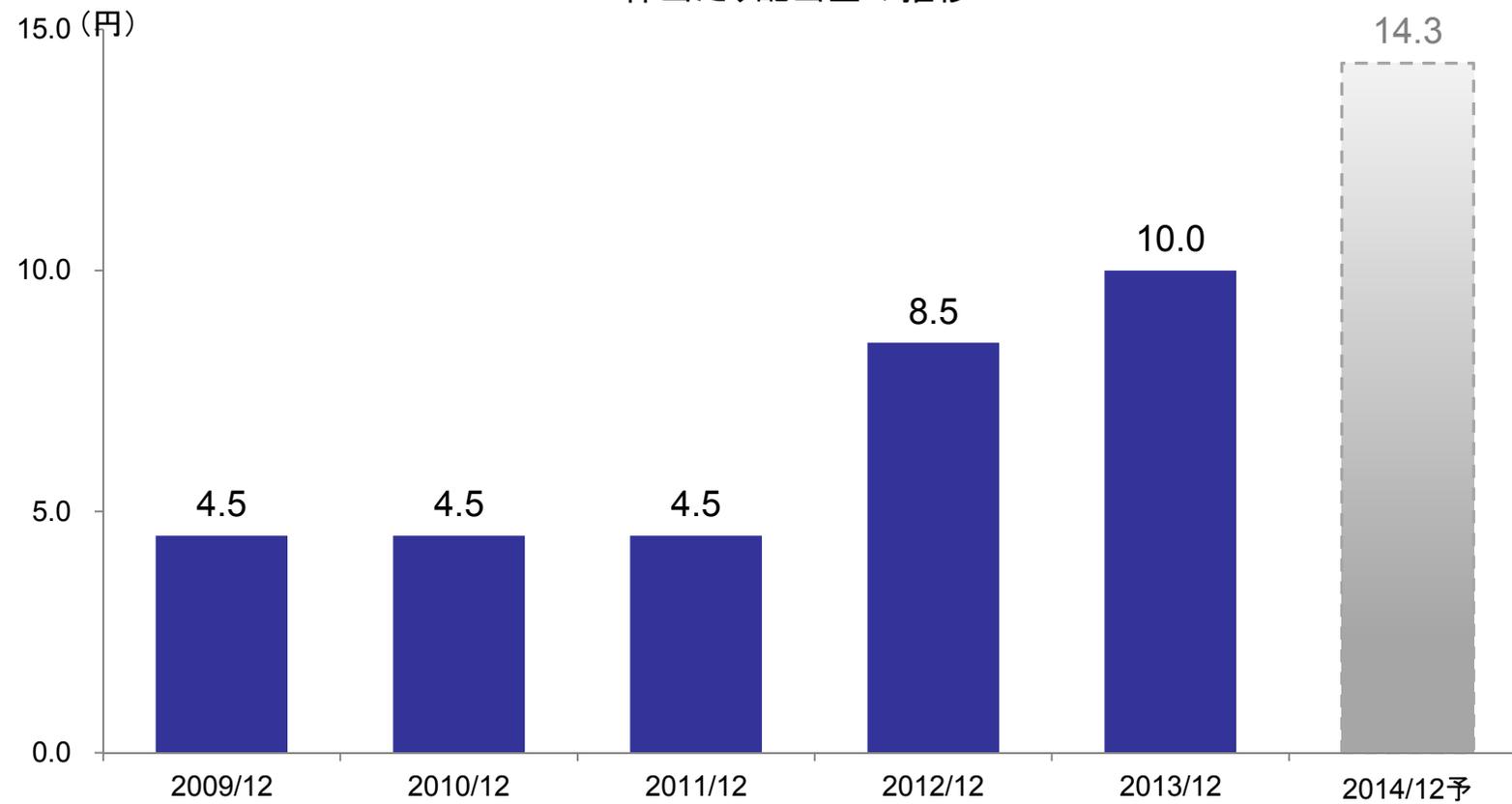
※セグメント変更に伴い、新基準にて2013/12期実績及び2月18日付公表予想を組替

※※2014年11月10日業績予想の修正発表

# 株主還元

利益成長に応じた増配を継続

一株当たり配当金の推移



# APPENDIX



# 会社概要

社名	株式会社ワールドホールディングス
本社所在地	福岡県福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル6F
設立	1993年(平成5年)2月12日 2014年7月1日持株会社化に伴い「株式会社ワールドインテック」より商号変更
代表者	伊井田 栄吉
事業内容	持株会社・グループ全体の経営方針策定及び経営管理
資本金	701百万円 (2013年12月31日現在)
在籍	10,499名(連結/2014年9月30日現在)
事業子会社	連結子会社14社、非連結子会社1社、関連会社1社 (連結/2014年9月30日現在)
上場日	2005年2月9日(東証ジャスダック:証券コード2429)

# セグメント変更の内容

関連性の高い事業を集約し、状況把握と経営判断をよりスピーディーに

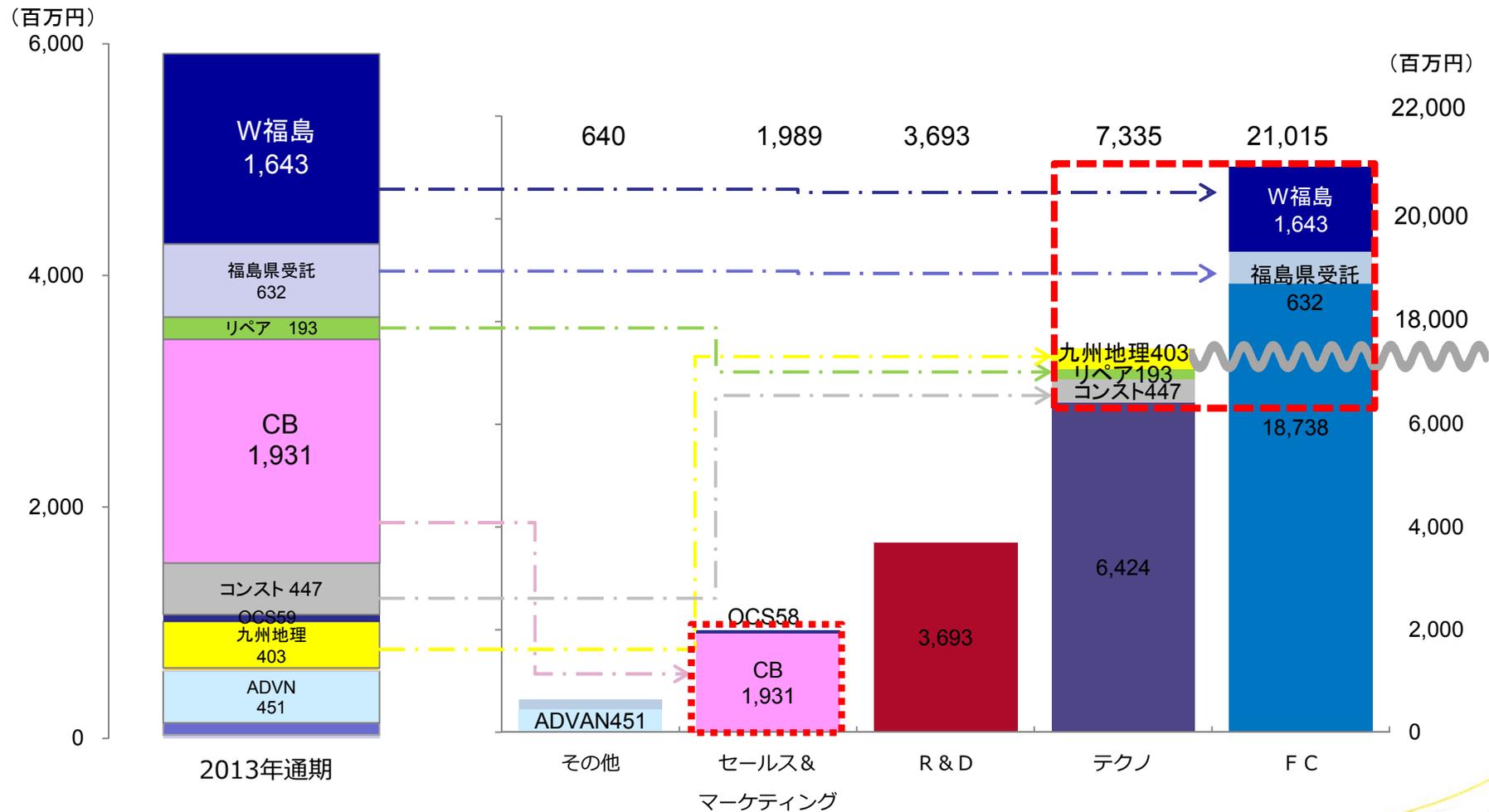
旧セグメント	新セグメント	内 容
ファクトリー事業	ファクトリー事業	ファクトリー事業 + (旧その他)福島県受託・ワールドインテック福島
テクノ事業	テクノ事業	テクノ事業 + (旧その他)コンスト事業+リペア事業+九州地理情報
その他事業 福島県受託 ワールドインテック福島 リペア事業 アドバン 九州地理情報 CB・コンスト・OCS 他	セールス& マーケティング 事業	(旧その他)CB事業+OCS事業
	その他事業	(旧その他)アドバン・他
R&D事業		変更なし
不動産ビジネス		変更なし
情報通信ビジネス		変更なし

↑ 人材教育ビジネス ↓

# セグメント変更による影響(2013/12期)

＜セグメント変更前＞  
その他セグメント

＜セグメント変更後＞  
その他セグメントを内容に応じて各セグメントに再編成



# 製造系地域別・業種別売上高比率推移

ファクトリー事業※

【地域別売上高比率】

【在籍数】

	九州	中国	関西	東海	関東	東北		国内	台湾	合計
2014/3Q累計	24.4	19.8	6.8	4.8	27.4	16.8	2014年9月末	6,099	166	6,265
2013/3Q累計	27.3	24.9	7.4	3.9	16.9	19.7	2013年9月末	5,718	266	5,984

【業種別売上高比率】

	電気電子	物流	半導体	自動車	機械	環境エネルギー	化学	食料品・消費財	精密機器	その他
2014/3Q累計	29.6	13.5	9.4	9.0	7.5	5.7	3.0	2.5	1.8	18.0
2013/3Q累計	22.0	10.3	9.4	10.7	9.1	5.5	3.7	4.4	2.2	22.7

※セグメント変更に伴い新基準にて2013/12 2Qを組替(台湾除く国内のみの合計)

# エンジニア系地域別・業種別売上高比率推移

## テクノ事業※

### 【地域別売上高比率】

	九州	中国	関西	東海	関東	東北
2014/3Q累計	32.8	20.7	17.5	3.3	23.4	2.3
2013/3Q累計	35.8	22.8	11.7	2.6	22.6	4.5

### 【在籍数】

	国内
2014年9月末	1,516
2013年9月末	1,350

### 【業種別売上高比率】

	半導体	情報通信	機械	自動車	電気電子	環境エネルギー	コスト	その他
2014/3Q累計	44.9	16.3	6.5	5.8	4.6	4.1	9.0	8.8
2013/3Q累計	43.1	15.7	5.9	6.2	3.9	4.2	14.0	7.0

※セグメント変更に伴い新基準にて2013/12 2Qを組替

# 本資料に関するお問い合わせ

---

株式会社ワールドホールディングス

経営管理本部 広報IR室 津田 由佳理

TEL: 2014年11月25日まで 03-6895-0105

: 2014年11月25日以降 03-3433-6005

11/25～東京本部移転に伴い電話番号が変更になります。

E-MAIL [irinfo@world-hd.co.jp](mailto:irinfo@world-hd.co.jp)

URL <http://www.world-hd.co.jp/>

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更される事があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社及び情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。